

「かみとほとけの文化」

「房総の仏像」

- 1 房総半島の仏像概観(一)
- 2 房総半島の仏像概観(二)
- 3 成田山の歴史と仏像
- 4 我孫子市の仏像

「神楽を読み解く」

- 1 ユネスコ無形文化遺産と神楽
- 2 神楽の構造
- 3 神楽の舞台
- 4 神楽歌

Culture of gods and Buddhas

WWW.SUBARASHI.CO



■日程・時間割

- 第1回 6月 9日 火
- 第2回 6月 16日 火
- 第3回 6月 23日 火
- 第4回 6月 30日 火

「房総の仏像」
14時30分～15時40分

「神楽を読み解く」
15時50分～17時00分

(時間は毎回同じ)

■講師

眞田尊光 日本文化学科 教授

伊藤 純 日本文化学科 教授

■事前申し込み制

お名前、ご住所、電話番号をご記入のうえ裏面宛先までお申し込みください。



テーマ「かみとほどけの文化」

■日程・時間割

第1回 6月 9日(火)

第2回 6月 16日(火)

第3回 6月 23日(火)

第4回 6月 30日(火)

「房総の仏像」

14時30分～15時40分

「神楽を読み解く」

15時50分～17時00分

受講料 無料

「房総の仏像」

房総半島には古代から現代までに数多の仏像が伝来しています。それらの仏像のなかでも各時代を代表する著名な仏像を取り上げながら、仏像のかたちの意味や鑑賞のポイントについてもわかりやすく解説します。

- 1 房総半島の仏像概観(一)
- 2 房総半島の仏像概観(二)
- 3 成田山の歴史と仏像
- 4 我孫子市の仏像



プロフィール 眞田尊光(さなだ たかみつ) 日本文化学科 教授

早稲田大学大学院文学研究科博士課程芸術学(美術史)専攻中退、高野山大学大学院文学研究科博士課程密教学専攻修了。専門は仏教美術史・日本美術史。著書に『鑑真と唐招提寺の研究』(吉川弘文館、2021年)、論文は「神護寺薬師如来立像の造立背景再考」(『川村学園女子大学研究紀要』35号、2024年)、「布佐のほどけ-延命寺と観音堂の諸像-」(『我孫子市文化財報告集』25集、2026年)など。

「神楽を読み解く」

2028年度にユネスコ無形文化遺産に登録される見通しとなった「神楽」。その魅力は、神話を超えて、宗教文化や地域の祈りのかたちと深く結びついています。今回は神楽のしくみを解き明かすことをテーマに、構造・舞台・歌の三つの視点から神楽がどのように創られ、現在に伝えられてきたのかを読み解きます。

- 1 ユネスコ無形文化遺産と神楽
- 2 神楽の構造
- 3 神楽の舞台
- 4 神楽歌



プロフィール 伊藤純(いとう じゅん) 日本文化学科 教授

早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了。専門は民俗学、特に日本の祭礼や芸能の研究。主な論文に「祭り・民俗芸能の一時的な担い手を対象化する-東京都三宅村の祭り・民俗芸能を事例として-」(『無形文化遺産報告』19、2025年)、「法印神楽團の獅子舞」(『山岳修験』68、2021年)がある。その他、東京文化財研究所客員研究員などを務める。

■事前申し込み制

お名前、ご住所、電話番号、件名に「オープンカレッジ申込み」とご記入のうえ下記宛先までお申し込みください。

・郵送でのお申込み

・メールでのお申込み

〒270-1138 我孫子市下ヶ戸1133

j.itou@kgwu.ac.jp

川村学園女子大学我孫子キャンパス庶務課

(電話)04-7183-0111

